

地域協育ネット構築に向けて

～ 4 校による学校支援地域本部事業の取組～ 【山陽小野田市 高千帆中学校区】

地域の概要

高千帆中学校区は、山陽小野田市の中央部に位置し、人口は約 2 万人で、市の人口の約 3 割を占めています。小野田駅や多くの官公庁舎、住宅地が広がる地域です。「高千帆」の名前の由来は「高泊村・高畑村」の『高』、「千崎村」の『千』、「有帆村」の『帆』からなっています。校区の中心部は「高泊開作」で、江戸時代初期に有帆川河口の高泊湾を埋め立て、約 400 ヘクタールを開いた干拓地です。

人口	20,019 人	
世帯数	8,539 世帯	
対象校及び児童生徒数	高千帆中学校	530 人
	有帆小学校	191 人
	高泊小学校	268 人
	高千帆小学校	604 人

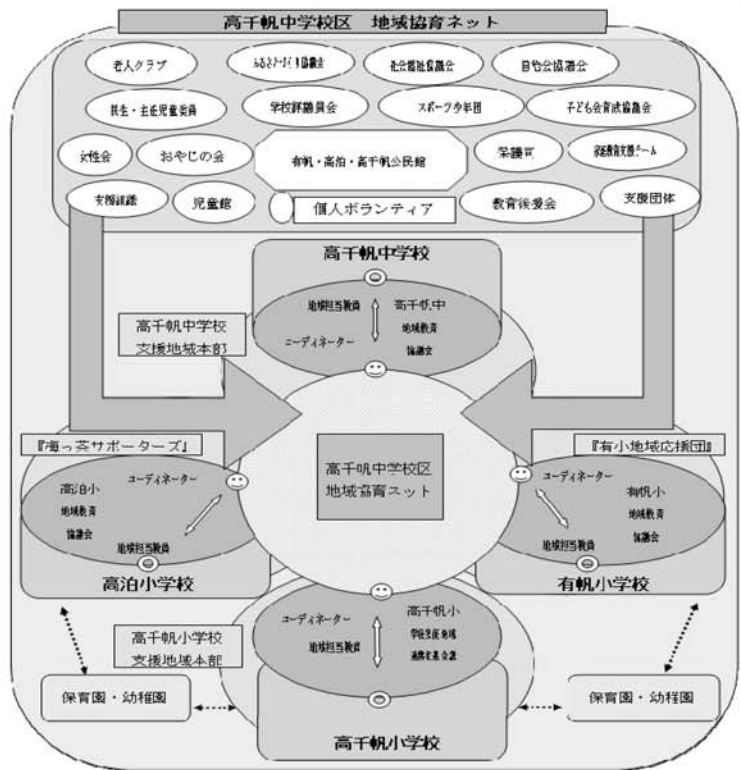
組織の内容

高千帆中学校区では、平成 20 年度より、有帆小学校支援地域本部（有小地域応援団）を、公民館を事務局として立ち上げ、平成 21 年度より、高泊小学校支援地域本部（梅っ茶サポーターズ）を、地域教育協議会を運営母体として立ち上げました。そして平成 24 年度より、市内 6 中学校区における地域協育ネットを構築するために、市内全ての小・中学校で学校支援地域本部事業を立ち上げた際に、高千帆小学校及び高千帆中学校も取組を始めました。

各地域教育協議会は、学校関係者をはじめ、ふるさとづくり協議会や自治会協議会、地区社会福祉協議会等の地域団体関係者、公民館、PTA等をメンバーとして構成しています。

現在、コーディネーターは有帆小学校 2 名、高泊小学校 2 名、高千帆小学校 1 名、高千帆中学校 1 名の計 6 名で、各校との連絡調整を行っています。

有帆小学校では、早くから学校支援に先進的に取り組んできた実績から他校のモデルとなっています。学習支援、見守り活動、環境整備等、幅広い活動を公民館を中心に運営しています。高泊小学校では、児童から募集したキャラクター「梅っ茶マン」の入ったチラシを配付し、ボランティア募集・登録をして、活動を継続しています。「泊っ子まもり隊」は昨年度、「学校安全ボランティア活動奨励賞」の全国表彰を受けるなど活動が盛んです。高千帆小学校では、学校・家庭・地域連携推進会議を運営母体にして、企画会や全体会を開催し、様々な支援団体・組織の協力を得て、学校支援活動に取り組んでいます。高千帆中学校では、多くの部活動支援や地区防犯パトロール等の支援が行われています。



コーディネーター数（4校）	計 6人
登録ボランティア数（4校）	計 205人

